■ 2027 年度 大阪総合保育大学大学院入試日程

前期課程入試日程

入試種別		出願期間	入学試験日時	合否発送日	納入金期限
前期	**社会人選抜試験** [小論文]+[面接] **一般選抜試験** 「筆記試験」+「小論文」+「面接」 **学内選抜試験** [小論文]+[面接]	11月2日(月) 〜 11月25日(水)	11月29日(日)	12月1日(火)	一括:12月24日(木)
中期	**社会人選抜試験** 「小論文」+「面接」 **一般選抜試験** 「筆記試験」+「小論文」+「面接」 **学内選抜試験** 「小論文」+「面接」	12月21日(月) 〜 1月13日(水)	1月17日(日)	1月28日(木)	一括:2月26日(金)
後期	**社会人選抜試験** 「小論文」+「面接」 **一般選抜試験** 「筆記試験」+「小論文」+「面接」 **学内選抜試験** 「小論文」+「面接」	1月12日(火) 〜 2月3日(水)	2月7日(日)	2月12日(金)	一括:3月4日(木)

● 受験資格

(1)社会人選抜試験
大学及び短期大学を卒業し、幼稚園、認定こども園、保育所・保育園、教育研究機関、官公庁、企業等において3年以上(入学時)の実務経験を有する者を対象とする。

(2)一般選抜試験
次のいずれかに該当する者。
①大学卒業者及び2027年3月卒業見込みの者。
②学位授与機構により学士の学位を授与された者及び2027年3月までに授与される見込みの者。
③外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び、2027年3月までに修了見込みの者。
④文部科学大臣の指定した者。
⑤本学大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時22歳に達した者。

(3)学内選抜試験
大阪総合保育大学 児童保育学部 児童保育学科・乳児保育学科を卒業見込みの者で、学業成績が優れ、学長が推薦する者を対象とする。

後期課程入試日程

入試種別		出願期間	入学試験日時	合否発送日	納入金期限
前期	**社会人選抜試験** [筆記試験]+[小論文]+[面接] **一般選抜試験** 「筆記試験」+「小論文」+「面接」	11月2日(月) 〜 11月25日(水)	11月29日(日)	12月1日(火)	一括:12月24日(木)
後期	**社会人選抜試験** [筆記試験]+[小論文]+[面接] **一般選抜試験** 「筆記試験」+「小論文」+「面接」	1月12日(火) 〜 2月3日(水)	2月7日(日)	2月12日(金)	一括:3月4日(木)
学内選抜試験 「小論文」+「面接」		1月12日(火) 〜 2月3日(水)	2月7日(日)	2月12日(金)	一括:3月4日(木)

● 受験資格

(1)社会人選抜試験
教育研究機関、官公庁、企業等において10年以上(入学時)の実務経験を有し、かつ研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者。

(2)一般選抜試験
次のいずれかに該当する者。
①修士の学位を有する者、および2027年3月までに修士の学位を取得する見込みの者。
②外国において修士の学位を授与された者。
③文部科学大臣の指定した者(平成元年文部省告示第118号)。
※なお、受験資格③に該当する者は、資格認定審査が必要になるため、事前に「大学院入試係」に「出願資格認定願」等を提出してください。

(3)学内選抜試験
大阪総合保育大学大学院児童保育研究科博士前期課程修了見込みの者で、学業成績が優れ、かつ修士論文の評価がA(80点以上)であり、学長が推薦する者。

大阪総合保育大学 広報室
〒546-0013 大阪市東住吉区湯里6-4-26　TEL 06-6702-7603(代)　FAX 06-6702-8727　E-mail　sohodai@jonan.ac.jp

大阪総合保育大学 大学院

児童保育研究科 児童保育専攻

博士前期課程/博士後期課程

Osaka University of Comprehensive Children Education Graduate School

2027

【 建学の精神 】

自主自律
清和気品
敬天愛人

保育・教育現場のさまざまなニーズに対応できる高度専門職業人を育成。

2010年4月、大阪総合保育大学大学院児童保育研究科修士課程は、同大学児童保育学部教育との緊密な連携の下、保育・教育現場における多様化・複雑化した諸課題に適切に対応できる高度な専門性と独創性、豊かな人間性と広い視野、確かな実践的指導力とリーダーシップを兼ね備えた「高度専門職業人」の育成を目的として開設しました。本修士課程は目覚ましい発展を遂げ、さらに2012年4月より高度な研究者の養成を目指す博士課程を開設し、同時に修士課程を博士前期課程へと課程名称を変更しました。2026年3月現在、すでに154名が修了しています。夜間・土日開講によって、多くは社会人入学です。

2015年3月、博士後期課程第一期入学生が5名、いろいろな困難を越えて博士(教育学)の学位を取得し、修了しています。3年間で課程博士の称号を得ることは極めて困難ではありますが、第一期生の弛まぬ努力と指導教員の行き届いた研究指導が不可能を可能にし得たと喜んでいます。その後、第二期生6名、第三期生3名、第四期生6名、第五期生4名、第六期生3名、第七期生3名、第八期生6名、第九期生2名、第十期生2名、第十一期生5名合わせて44名が、それぞれ課程博士の称号を取得して、修了しました。さらに、2015年度から論文博士の審査申請を受け付けることができるようになり、現在では9名の論文博士が誕生しています。

また、2011年4月には、総合保育研究所を発足させました。「総合保育」とは何か、具体的にどのような実践を行うのかを究明し、広く社会に発信し、保育の質の向上に寄与することを目的に、多くの共同研究班を立ち上げ、活発な研究活動を展開しています。本大学院に入学されますと、大学院における指導教員はもとより、研究テーマに応じて、希望する共同研究班に所属し、他の研究員、客員研究員との共同研究に参加できます。この成果は研究所発行の単行本(叢書)としてすでに7冊発行されています。

本大学院は、さらに子ども家庭庁が示す「産前産後からの100ヵ月実行プラン」などきれめのない支援「乳児保育士」(本学独自資格)にも対応できる学修・支援体制を整えたいと思っています。

「保育現場で直面する諸問題を解決したい」、「新たな実践上の方向を学び保育現場を方向づける力を身につけたい」あるいは、他学部を卒業したが、新たに保育・教育を学びたい皆様、3年以上保育・教育にかかわった経験をお持ちの社会人の皆様、さらに博士後期課程への進学を目指す皆様の本大学院へのご入学を心より待ちしています。

大阪総合保育大学大学院学長　大方 美香

大学院で広がる世界

【取得できる学位・資格】

	大学院前期課程修了	大学院後期課程修了
学位	修士(教育学)	博士(教育学)
資格	小学校教諭専修免許 幼稚園教諭専修免許 特別支援教諭専修免許(申請中)	
将来のフィールド	大学教員・短大教員 研究者 幼稚園・保育所・小学校の教員のリーダー	大学教員・短大教員 研究者

唯一の保育大学大学院

大学院博士前期課程

大阪総合保育大学は日本で保育専門の博士課程を開設し保育の実践の中核として研究・教育の場を提供しています。学校教育系の大学院はこれまでもありましたが、保育に特化した保育系の大学院はありませんでした。しかし、保育に関わる「高度専門職業人」(専門性を持った保育者)を育成し、保育のリーダーの役割を担う人材の養成が急務であると指摘され2010年にまず大学院修士課程が本学に設けられました。

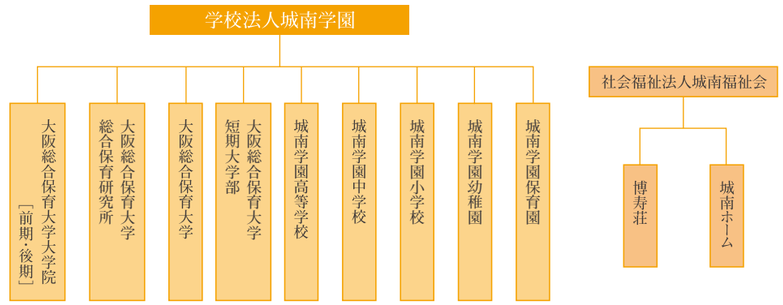
そのため、保育・教育系と心理健康系の2つの分野を想定し授業科目を用意しています。現在14期生まで各学年定員(10名)前後の院生が入学し、学習・研究などに取り組んでいます。修了後は保育の専門家、実践リーダーとして、また、幼児教育専門の大学教員・研究者として活躍しています。

大学院博士後期課程

その後、さらに深く専門的に教育する人材育成のために、本学に博士後期課程が開設されました。保育の研究はこれまで教育学・心理学・医学・保健学などで扱われてきましたが、保育それ自体を学問研究領域とする大学院はなく、保育学の確立というこれまで省みられなかった専門性を追求する博士後期課程が開設されました。博士後期課程では前期(修士)課程の2つの領域区分を念頭に置きつつ、より実践的・学術的な研究が進められています。後期課程では博士号が授与されますが、論文博士も受理しています。

【学校法人城南学園】

保育園・幼稚園から大学院まで一貫。
「教育と福祉の城南」として知られる総合学園。



児童保育研究科

論理的思考を持つ教育実践者と、
現場を理解する研究者を育てる教育。

研究科長
名須川 知子 特任教授

就学前の子どもをめぐる環境は、常に社会変動の影響を受けています。現代では、平和のさらなる希求と気候変動の中で、幼い子どもが伸び伸びと育つ環境を維持することは困難を極めています。

その中で保育界を牽引する研究を総合的に行い、リーダーを育てる大学院として本学は設置されました。2015年には博士前期（修士課程2年）と博士後期（博士課程3年）となり、保育の名称を備えた日本で唯一の大学院です。これまで、多くの修了生を輩出し、保育に関わる分野で活躍をしております。

「保育学」は乳幼児保育に関する心理、教育、内容に加えて、脳科学、福祉、小児医学に関わる多様な学問分野が関連しています。そのため高度専門職や研究者の養成のために、多様な教員が大学院生を指導しています。大学院生がこれまで現職として培った子ども観や保育の価値観を尊重して、一人一人の院生に対する丁寧な指導、助言により保育におけるテーマを整理し、探究し、論文として成果をまとめ、教員、大学院生を共有するカリキュラム体制の中で学びを深めています。同時に各領域のトップリーダーである研究者から講義を受ける機会を得ています。

現職を続けて大学院で学ぶことのできるように、毎週の授業は夜間、あるいは休日の集中講義での受講ができるようになっています。さらに、近年では、オンライン講義も併せて出来るだけ受講できるようなフレキシブルな時間割になっています。同時に、利便性のある立地条件に加え、A学舎の2階には、大学院生専用フロアーがあり、そこには教員研究室もあり学びの環境が備えられています。時には、修了生の訪問もあり、広く学びのプラットホームになっています。

このような雰囲気の中で保育をめぐる実践と理論の往還する研究の学び合うことで、これまでの自分自身の保育を見直し、さらに子どもにとって必要であることを学び、保育の高度専門職性を磨く機会となります。

是非、本学の門を叩いてみてください。そこには、あなた自身の成長だけではなく、未来の子どもの健やかな成長に寄与することのできる未来が開いていくと確信しています。

教員紹介

保育・教育、医学、心理学など、
子どもに関わるそれぞれの
専門分野で活躍。

学長
大方 美香 教授
研究分野：
保育学・乳幼児教育学/
博士（教育学）

研究科長
名須川 知子 特任教授
研究分野：
保育学・保育内容表現/
博士（学術）

木野 稔 特任教授
研究分野：
小児医学・医療保育学
医学博士

山縣 文治 特任教授
研究分野：
子ども家庭福祉
博士（学術）

阿部 和子 特任教授
研究分野：
児童学/
修士（家政学）

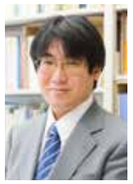
神長 美津子 特任教授
研究分野：
幼児教育学/
修士（教育学）

小椋 たみ子 特任教授
研究分野：
発達心理学/
博士（文学）

埋橋 玲子 特任教授
研究分野：
保育学・幼児教育学/
博士（学術）

湯川 秀樹 特任教授
研究分野：
幼児教育学・保育学・
教育社会学/
修士（教育学）

宮里 暁美 特任教授
研究分野：
保育学/
学士（家政学）



瀧川 光治 教授
研究分野：
保育学・教育方法/
博士（教育学）

渡辺 俊太郎 教授
研究分野：
臨床心理学/
博士（心理学）

浅野 孝平 教授
研究分野：
認知神経科学/
博士（医学）・修士（教育学）

髙根 栄美 准教授
研究分野：
乳幼児教育学・保育学/
修士（教育学）

井岡 瑞日 准教授
研究分野：
教育史/
博士（人間・環境学）

金重 利典 准教授
研究分野：
発達心理学・感情心理学/
博士（教育学）

阿川 勇太 講師
研究分野：
家族看護学/子育て支援
博士（看護学）

（名誉学長）

山崎 高哉
名誉学長（逝去）
［研究分野：教育学/博士（教育学）］

（名誉教授）

玉置 哲淳
名誉教授（逝去）
［研究分野：臨床幼児教育学・博士（教育学）］

小林 陽之助
名誉教授
［研究分野：小児医学・小児保健学］

冨田 和巳
名誉教授
［研究分野：小児心身医学・アレルギー学・免疫学］

守屋 國光
名誉教授
［研究分野：生涯発達心理学・特別支援教育・発達人間学］

修了生の声

博士後期課程　修了生の声

大学院時代の思い出。

大阪総合保育大学大学院に在学させていただいた３年間を振り返りますと、様々な思いが蘇って参ります。授業では、貴重な知識や方法論を伝授していただくだけではなく、年齢や職業・立場の違う方たちと出会い、意見を交わす中で研究上の示唆を数多く得られ、視野も広がりました。
通うのが大変であると感じていた授業が、あっという間に楽しみに変わったのを覚えております。
その一方で、仕事の合間を縫っての論文執筆や、研究フィールドに足を運んだりする日々は、思いの外厳しい道のりでした。忙しいのは事実でしたが、それを免罪符にしたい「自分の弱さ」との戦いであったと振り返ります。しかし、そのような心を叱咤激励し、支援し続けてくださったのが先生方であり、博士後期課程・前期課程の仲間の方達でした。山﨑学長先生をはじめ、主査であった守屋國光先生や副査の大方美香先生だけでなく、どの先生方も研究動向を常に気に懸け、方向性と示唆を与えてくださいました。授業外や休日を返上し、論文のご指導をしていただきましたことも数知れません。
　歳を重ねキャリアを積んでいく程に、叱ってくれる人の存在は減っていきます。温かいまなざしを向け、時には叱ってくださった先生方との出会いは、人生の宝になりました。また、職場では学生を指導し、大学院では学生として指導を受けるという、双方の立場を経験したことで、自信の姿勢を問い直すきっかけにもなりました。素晴らしい先生方との出会い、親身なご指導に触れ、教員という存在の影響力の大きさや、やりがいを改めて感じることができました。

竹中 美香
Mika Takenaka

大阪総合大学大学院
博士後期課程一期生
現職：畿央大学

博士前期課程　修了生の声

橘 信子
Nobuko Tachibana

遠方のため、1時間半の授業のために5時間かけて通学しました。園の仕事が溜まって大変なときも、学ぶことが楽しいし、保育のヒントなど必ず何かを得て帰ることができるので、頑張れました。学んだことを職員に還元できることで、意欲が湧きますね。

実務経験あり（現在保育士として勤務）

華頂短期大学 》 花園大学 》 大井保育園勤務

理論を踏まえることの大切さを痛感。視野を広げ、自分を高められる素晴らしい場です。

保育士として働き始めて約 21 年目。卒業から長い期間が経ち、理論が実践と結びつかないまま、毎日の仕事に追われていました。理論を学びなおす必要性はもちろん、現場での保育の方法論が学べるならと大学院に入りました。この大学院では、経歴も素晴らしい先生方が丁寧に指導してくださるし、経験豊富な年上の仲間がいて、刺激やアドバイスがもらえました。また、横のつながりができると、視野が広がるし、自分を高めていくことができます。現場の仕事の両立が大変なときにも、みんなで頑張ろうという雰囲気があったのがいいですね。
授業では、教育学や発達心理学など忘れていた理論を再確認しました。また、ケガや病気、予防接種など、保育に密着した医学の知識も学ぶことができました。理論をきちんと押さえることで、子どもに対する言葉かけ、促し方も変わりました。たとえば、一人ひとりの子どもをしっかり見るにはどうしたらいいかでは、「一人ひとりと会話したかを表にして、毎日チェック。しゃべったら〇、どうだっただろうは△、しゃべっていない ×。次の日はしゃべっていない子どもとまず話す」など、現場の保育士ならすぐに実践できること、絶対に押さえておくべきことが学べました。
忙しい現場では、日程を繰り合わせて研修に出て行くのも難しいもの。私は職場を代表して学ばせもらっているので、学んだことは職員全員で共有し、実践するようにしています。一人が連続してしっかり学ぶことで、保育士の資質向上や園のレベルアップにもつながると思います。

カリキュラム

2026年度 博士前期課程カリキュラム 入学生例

専門基礎科目

教育学特論　保育学特論　幼児教育学特論　発達心理学特論　小児医学特論Ⅰ　子ども心身医療特論Ⅰ　保育研究調査法Ⅰ　保育研究調査法Ⅱ

専門応用科目

□ 保育･教育実践研究領域

教育方法特論　教育方法学特殊講義Ⅰ　教育方法学特殊講義Ⅱ　こども学特殊講義
教育課程特論　幼児教育思想史研究　教育内容研究　保育内容研究　教育実践研究Ⅰ
教育実践研究Ⅱ　保育実践研究Ⅰ　保育実践研究Ⅱ　子どもと表現研究　生涯教育学研究

□ 子どもの健康研究領域

教育心理学特論　教育心理学特殊講義　幼児教育心理学特論　臨床発達心理学　幼児心理学特論
小児医学特論Ⅱ　子どもと健康特殊講義　子ども心身医療特論Ⅱ　臨床心理学研究Ⅰ　臨床心理学研究Ⅱ

教科教育科目

国語科教育特論　算数科教育特論　理科教育特論　社会科教育特論　音楽科教育特論　体育科教育特論

研究指導科目

研究指導

博士前期課程の修了要件

□ 30単位以上を修得すること □ 修士論文または実践研究報告書を提出し、審査に合格すること

※ 実践研究報告書とは、保育･教育の現場にかかわり、日々の実践で試みた保育･教育課程や指導法･評価法、さらには、地域との連携、子育て家庭への支援等の改善について、その過程と結果をデータに基づいて整理かつ考察し、その理論的意味づけを行なったものをいいます。

1. 保育「専門基礎科目」としての保育学特論・幼児教育学特論など８つから選択し、保育の考え方などを学ぶことができます。
2. さらに、院生が専門性を確立できるよう「専門応用科目」として保育実践研究などの保育･教育実践研究領域、及び、幼児教育心理学特論・子どもと健康特殊講義などの子どもの健康研究領域の２つの領域から学ぶことができます。本大学院は専任教員のみならず、全国的に著名な研究者を招いているので多様な研究者から学び研究を進めることが可能となっています。

2026年度 博士後期課程カリキュラム 入学生例

特殊研究科目

教育学特講　幼児教育学特講　保育学特講　小児医学特講　子ども心身医療特講　発達心理学特講

課題演習科目　保育･教育研究領域

教育学演習　教育方法学演習　幼児教育学演習　保育実践研究演習　保育内容研究演習

課題演習科目　子どもの健康研究領域

小児医学演習　子ども心身医療演習　発達心理学演習（発達支援･発達臨床）　臨床心理学演習

研究指導科目

研究指導

博士後期課程の修了要件

□10 単位以上を修得すること □博士学位請求論文を提出し、審査に合格すること

1. 後期課程の中心はゼミ（論文指導）です。ただし、ゼミ以外にも上記のような授業科目を用意しており、院生の選択の下に 10 単位を習得することとなっており、自分の学びが可能となっています。
2. 博士論文を仕上げていく上で本学教授陣の全員指導体制の下に丁寧な援助が可能となるように準備をしています。

施設

Topics

大学院自習室

大学院共同研究室･ゼミ室

スタディルーム

屋上庭園

【 大阪総合保育大学 】 本学舎最新の実習設備や機器を整え、研究や教育をバックアップ。

観察室

情報室

模擬保育室

調理室

【 第2学舎 】 コンセプトは「地域交流」と「情報発信」。

図書館

坂上記念ホール

カフェテリア

城南学園幼稚園･城南学園保育園

城南学園保育園 2016 年 4 月開園。付属幼稚園･保育園と連携して研究を進めています。

進路・就職

高い需要。広がる将来の活躍フィールド

大学院修了後は、保育・教育の専門家・ワーカーとして活躍する人、また大学教員等研究者として活躍しています。少子化や保育・ニーズが多様化する中で子どもたちを取り巻く社会的環境も変化し、即戦力としての専門職、専修免許を持つ教諭が保育・教育の専門家としては、強く求められ卒業生は活躍しています。本大学院では幼稚園教諭・小学校教諭・特別支援教諭（申請中）の専修免許取得が可能です。将来のフィールドとしても、保育所、幼稚園、小学校などの専門職、子育て支援センターをはじめ、在宅ケア、病児保育など大きく広がっています。
また、「保育と福祉の城南」としての歴史を持つ本学では、城南グループをはじめ、全国の各教育委員会や公立・国立・私立の、保育所、こども園、幼稚園・小学校との強力なネットワークを活用して、活躍の場を広げていきます。また現在、全国の大学や保育幼児教育・現場でリーダーとして活躍いています。

一人ひとりに合わせて、納得のいく就職・進路を保証

本学は、社会人として働きながら学ぶ院生が多いのが特徴です。そこで、就職・進学に当たっては個別対応を基本として、院生が目標を実現できるよう、学部卒の人を土台に、質の高い専門教育・実践教育を行うことで、一人ひとりの就職・進路を保証します。また、乳児保育（赤ちゃん学）のアプローチから乳児保育士を本学独自に養成し大学院でも反映すべく試みています。

学費

	入学金	授業料	教育充実費	合計
入学手続き納付金	￥200,000	￥300,000	￥60,000	￥560,000
後期授業料納付金	――――	￥300,000	￥60,000	￥360,000

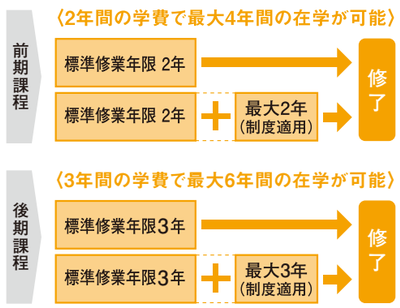
長期履修制度

本学では、職業等に従事しながら、また家事、育児、介護等に当たりながら大学院で学ぶことを希望する社会人の方々の学習機会を一層拡大する観点から、「長期履修制度」を設けています。上記の事情により修学、研究の時間が制限され、標準修業年限内で修了することが困難な方が柔軟に修業年限を超えて学び、学位を取得することが可能になります。この制度は、本人の申請に基づいて審査し、標準修業年限を超えて長期履修をあらかじめ認め、計画的に課程を修了することにより、学位の取得を可能にしたものです。

● 在学期間
博士前期課程における在学期間は３年または４年。
博士後期課程における在学期間は４年～６年。

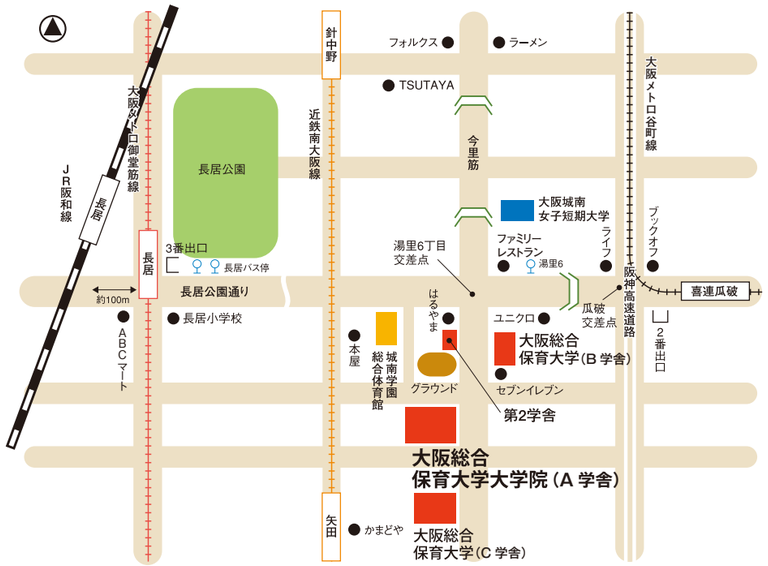
● 申請方法
入学後、2年次開始時までに「長期履修申請書（本学形式）」を提出。

● 長期履修制度に係る授業料
前期課程
標準修業年限（2年間）において支払う授業料を、標準修業年限内に支払う。
後期課程
標準修業年限（3年間）において支払う授業料を、標準修業年限内に支払う。



Location

さまざまな駅からのアクセスが可能。フットワークのよさが魅力の都心型キャンパスです。周辺にはコンビニや飲食店など、暮らしに便利な施設が充実しています。



Access

大阪メトロ谷町線 喜連瓜破駅から
2番出口から西へ約1.3km（約17分）

大阪メトロ御堂筋 長居駅から
3番出口から長居バス停より
「4番出戸ターミナル行き」に乗車し、
「湯里6」で下車すぐ

近鉄阿部野橋駅・JR天王寺駅から
市バス「6番住道矢田行き」乗車
「湯里6」で下車すぐ

近鉄南大阪線 矢田駅から
駅から北へ約600m、東へ約500m
（約13分）